



**2017年3月期 決算説明会**



**フジテック株式会社  
2017年5月25日(木)**

**GINZA SIX(東京)**

1. 2017年3月期 決算報告
2. 2018年3月期 業績予想
3. 中期経営計画の取り組み

# 1. 2017年3月期 決算報告

## 利益は期初計画を上回る

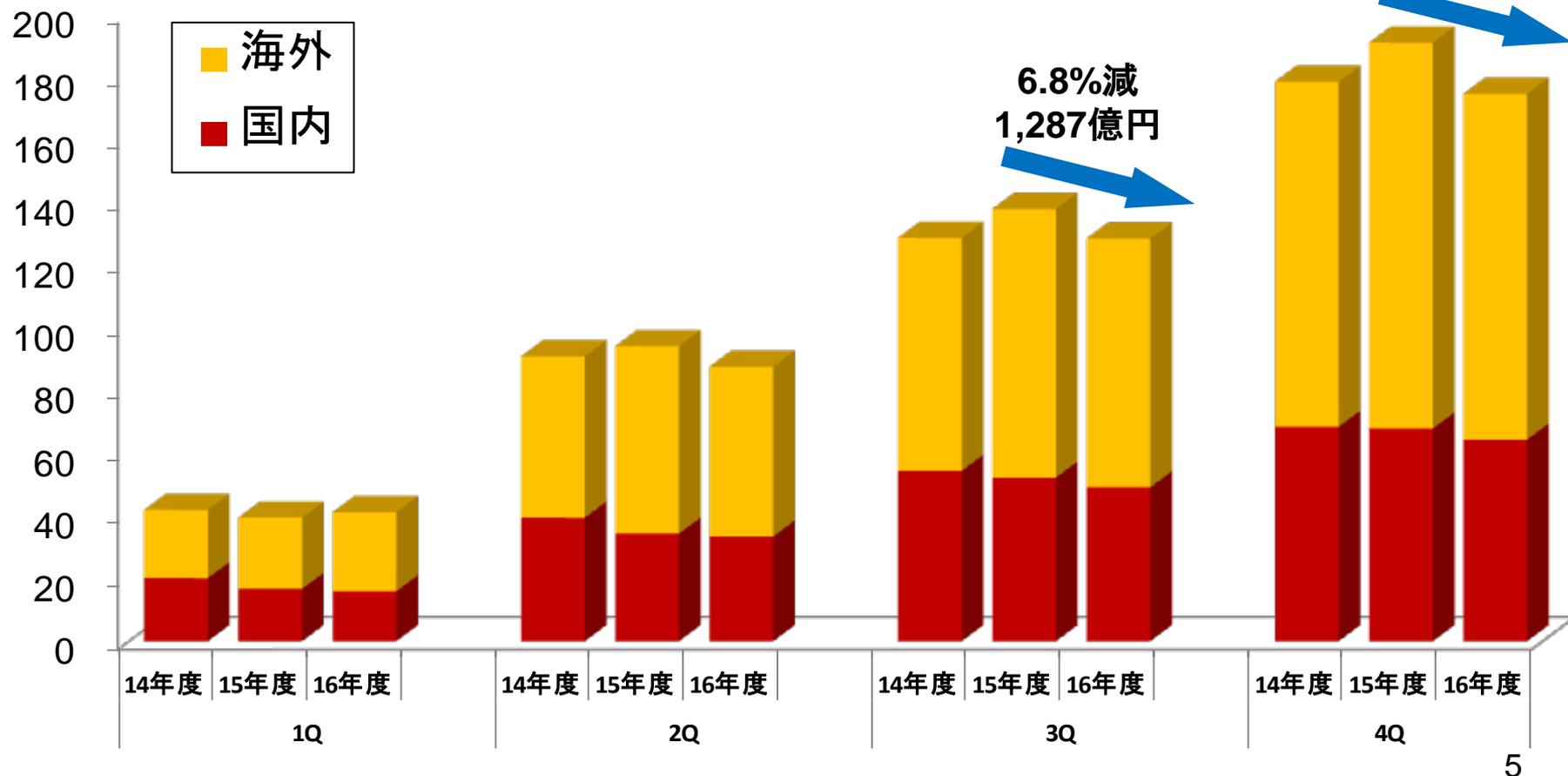
(単位:百万円)

	2017/3 (通期)	構成比 (利益率)	期初計画	2016/3 (通期)	構成比 (利益率)	増減%
受注高	174,966	100.0%	—	191,282	100.0%	△8.5%
国内	64,452	36.8%	—	68,003	35.6%	△5.2%
海外	110,513	63.2%	—	123,279	64.4%	△10.4%
売上高	167,442	100.0%	170,000	177,128	100.0%	△5.5%
国内	62,797	37.5%	—	60,381	34.1%	+4.0%
海外	104,644	62.5%	—	116,747	65.9%	△10.4%
営業利益	12,687	7.6%	12,000	14,449	8.2%	△12.2%
経常利益	13,110	7.8%	13,000	15,162	8.6%	△13.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	8,564	5.1%	8,500	8,807	5.0%	△2.8%
EPS	106.35円	—	105.54円	109.36円	—	△3.01円

平均為替レート : 17/3期 1米ドル109円、16/3期 1米ドル121円

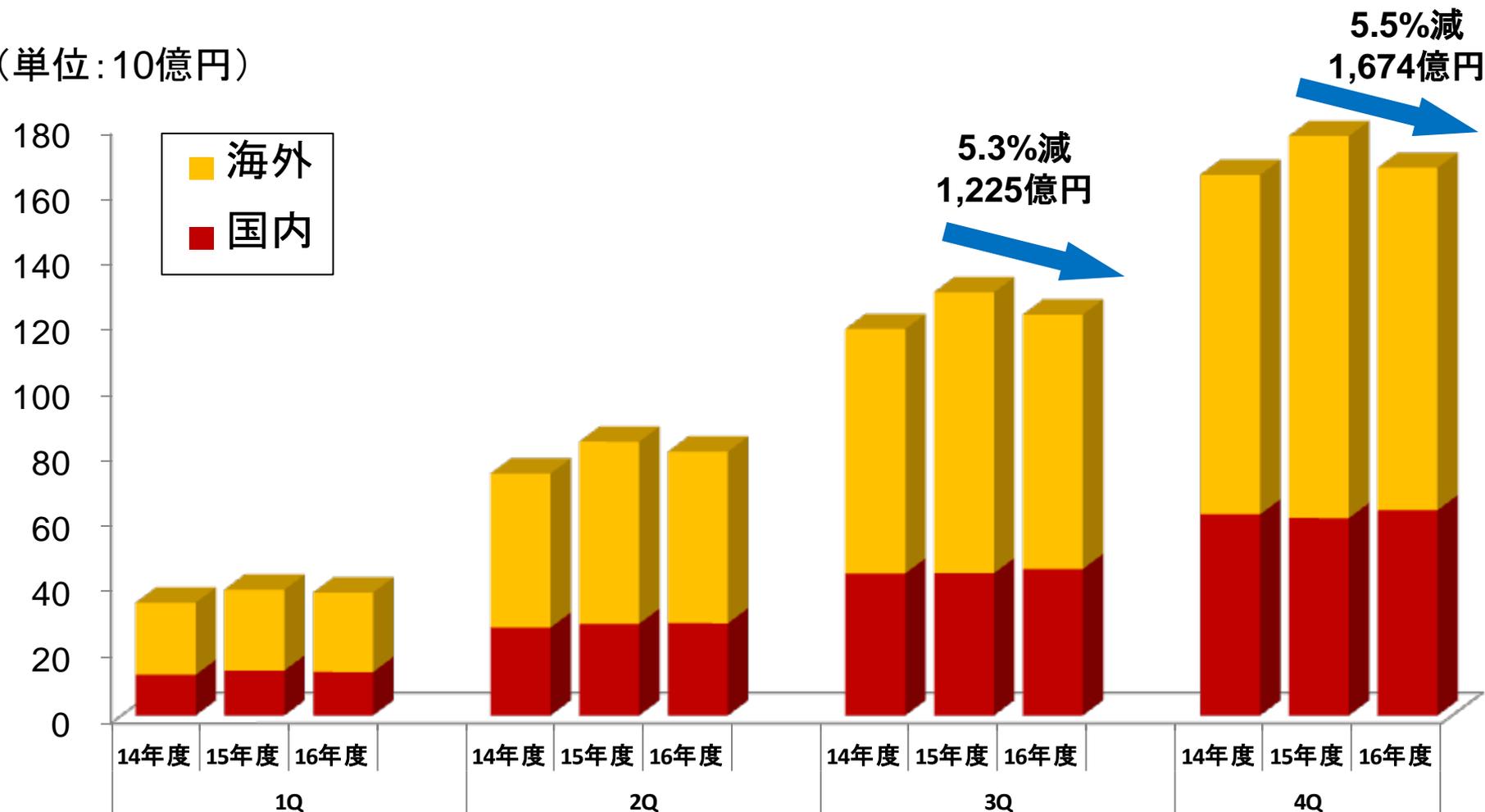
## 東アジアが減少

(単位:10億円)



## 日本以外は減少

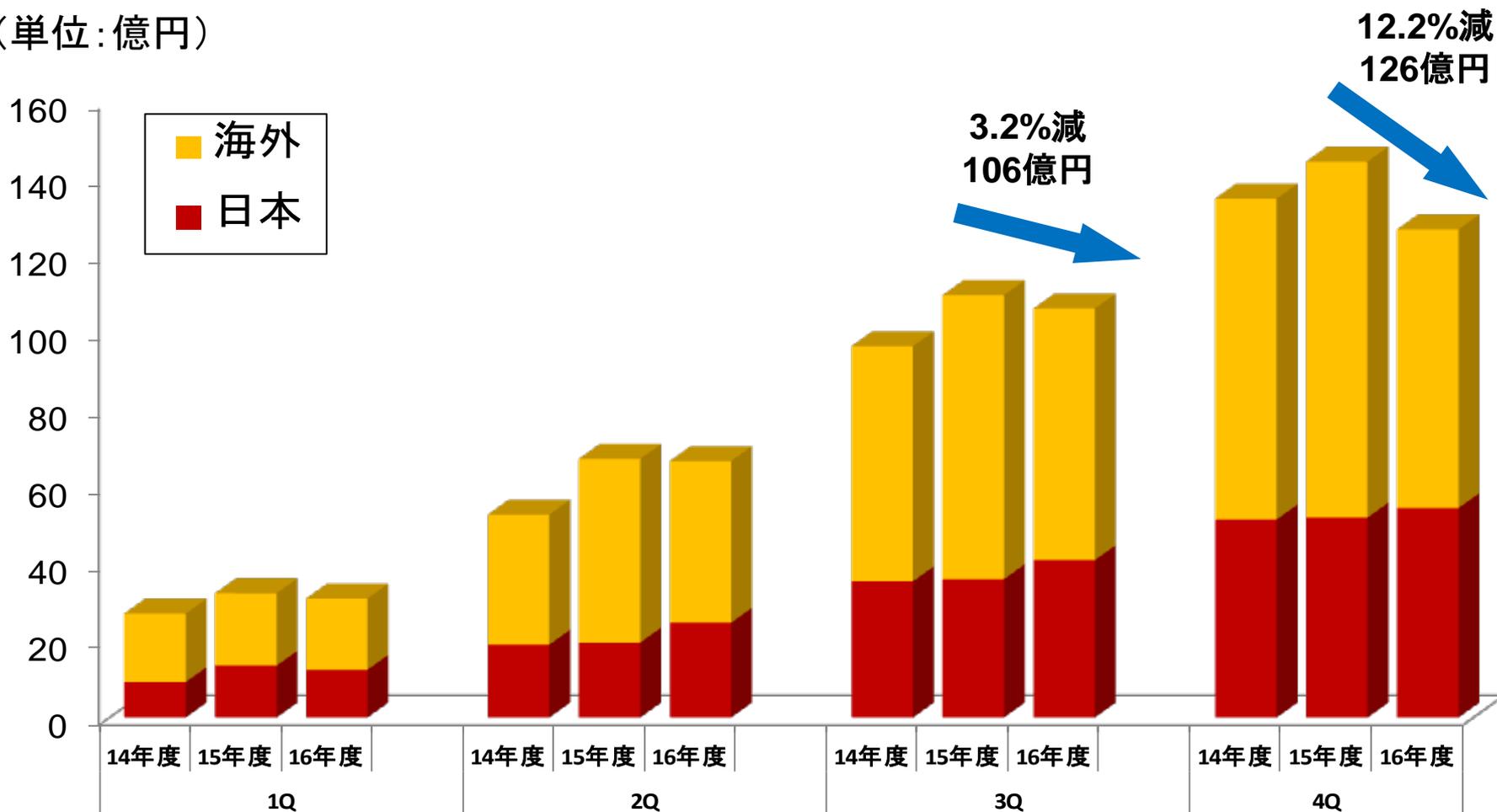
(単位:10億円)



# 1-4. 四半期累計営業利益の推移

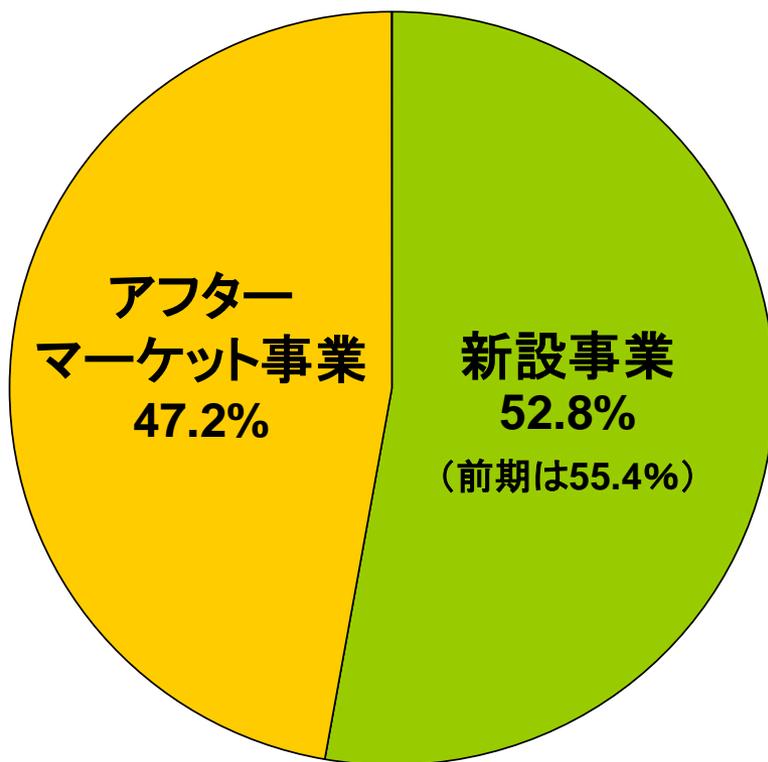
## 日本、北米、南アジアが増益

(単位:億円)

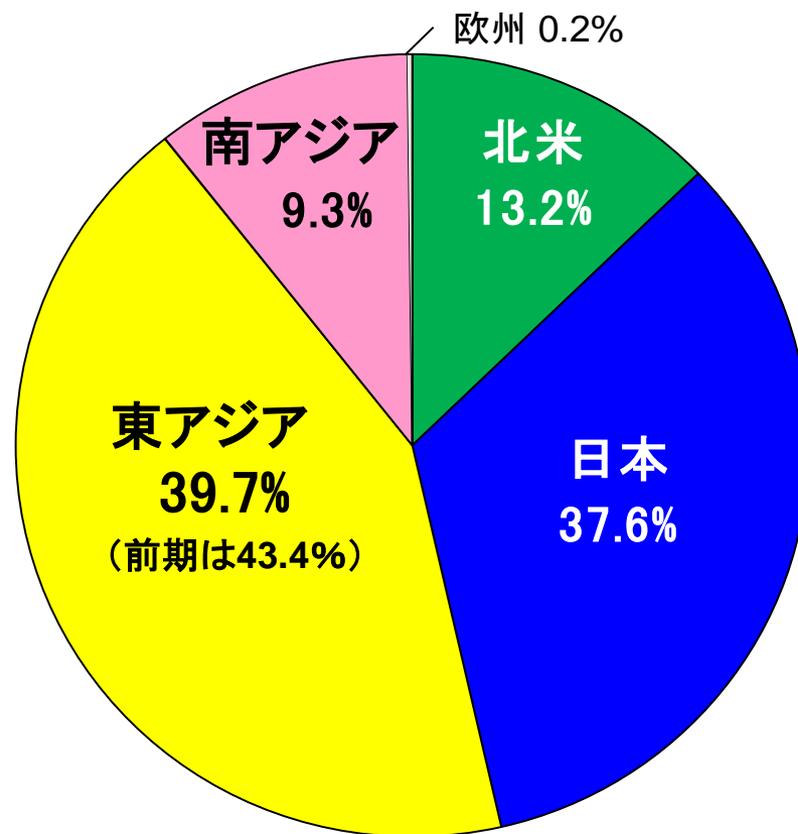


## 東アジアが縮小

### 事業別売上高



### セグメント別売上高



## 日本が増収増益。北米、南アジアも増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2017/3 (通期)	2016/3 (通期)	増減%	2017/3 (通期)	2016/3 (通期)	増減額
日 本	65,572	65,001	+0.9%	5,445	5,199	+245
東アジア	72,594	84,606	△14.2%	4,540	7,500	△2,960
北 米	22,092	22,360	△1.2%	930	137	+792
南アジア	15,586	17,075	△8.7%	1,720	1,626	+94
欧 州	407	508	△19.8%	△54	△43	△10
小 計	176,254	189,552	△7.0%	12,582	14,421	△1,838
調 整 額	△8,811	△12,423	—	105	28	+76
合 計	167,442	177,128	△5.5%	12,687	14,449	△1,762

平均為替レート：17/3期 1米ドル109円、16/3期 1米ドル121円

## 売上高、営業利益は過去最高更新

### 新設事業

- ・受注減少するも増収増益
- ・生産性改善で固定費を吸収
- ・円高により材料費も低減

### アフター マーケット 事業

- ・保守、モダニゼーション、修理ともに  
受注増加し増収増益



GINZA SIX(東京)



エクシブ湯河原離宮(神奈川)

## 中国市場の競争激化で減収減益

中国

- ・競争激化で販売単価は下落傾向
- ・受注台数増加するも受注金額は減少

香港  
台湾  
韓国

- ・香港、台湾は実質増益
- ・モダニゼーションの受注が堅調



華夏大運河孔雀城(中国)



文来オフィスビル(韓国)



コリンシア・バイ・ザ・シー(香港)

## シンガポール好調で増益

シンガ  
ポール

- ・受注は住宅向け好調で前期比5割増加
- ・新設、アフターマーケット事業が堅調

アセアン  
地域  
インド

- ・マレーシア、インドネシアは増益
- ・インドは新設受注が減少



プラザ・アルカディア  
(マレーシア)



シネレ・テラッセ・スイーツ  
(インドネシア)



パーセル・エフ  
(マレーシア)

## 北米は実質増収、営業増益

北米

- ・新設、モダニゼーション事業の受注が増加
- ・利益率も改善

欧州

- ・英国は増収
- ・ドイツは低調



99ハドソン・ストリート  
(米国)

# 1-11. 連結決算 B/S

(単位：百万円)

	2017/3末	2016/3末	増減額	備考
流動資産	123,038	123,304	△266	
現金及び預金	45,749	43,698	+2,050	南アジアの増加
受取手形及び売掛金	50,455	52,502	△2,046	東アジアの減少
棚卸資産	20,661	21,075	△414	
その他	6,172	6,028	+143	
固定資産	49,969	48,567	+1,402	
有形固定資産	34,495	33,828	+667	設備投資 +4,149 減価償却 △2,503 為替ほか △979
無形固定資産	3,893	4,063	△170	
投資その他の資産	11,580	10,674	+905	株価の上昇による投資有価証券の評価額増加
総資産	173,007	171,872	+1,135	
流動負債	64,103	66,981	△2,878	支払手形及び買掛金 +733 電子記録債務 +559 短期借入金 △3,630
固定負債	5,057	4,484	+572	
純資産	103,847	100,406	+3,440	利益剰余金 +6,133 為替換算調整勘定 △3,217
自己資本比率	53.5%	51.6%	—	
B P S	1,148.36円	1,102.66円	+45.70円	

## フリーキャッシュ・フローが増加

(単位：百万円)

	2017/3	2016/3	増減額
現金及び現金同等物期首残高	21,833	30,602	△8,768
営業活動キャッシュ・フロー	14,360	8,932	+5,427
投資活動キャッシュ・フロー	△6,957	△5,319	△1,637
フリーキャッシュ・フロー	7,403	3,612	+3,790
財務活動キャッシュ・フロー	△6,757	△11,532	+4,774
現金及び現金同等物期末残高	20,910	21,833	△923

## 2. 2018年3月期 業績予想

# 2-1. セグメント別業績予想

## 全セグメントで増収を予想

### 2017年3月期実績

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	655	54	8.3%
東アジア	725	45	6.3%
北 米	220	9	4.2%
南アジア	155	17	11.0%
欧 州	4	△0.5	△13.3%
小 計	1,762	125	7.1%
調 整 額	△88	1	-
合 計	1,674	126	7.6%



### 2018年3月期予想

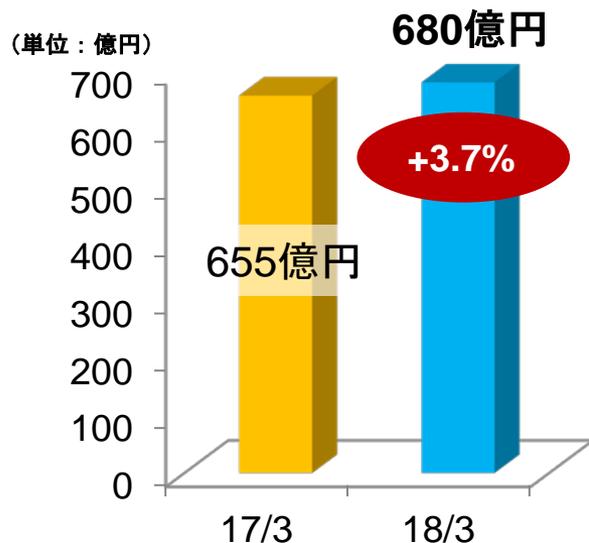
	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	680	57	8.4%
東アジア	740	49	6.6%
北 米	230	9	3.9%
南アジア	190	18	9.5%
欧 州	5	0	-
小 計	1,845	133	7.2%
調 整 額	△95	△1	-
合 計	1,750	132	7.5%

平均為替レート: 1米ドル109円

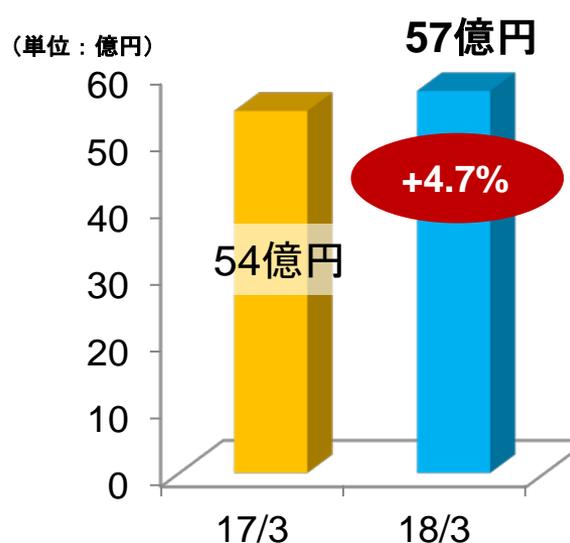
平均為替レート: 1米ドル110円

## シェア拡大に向け受注増

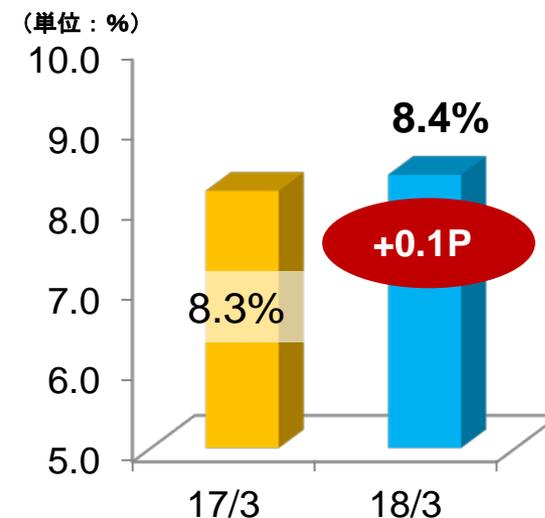
### 売上高



### 営業利益



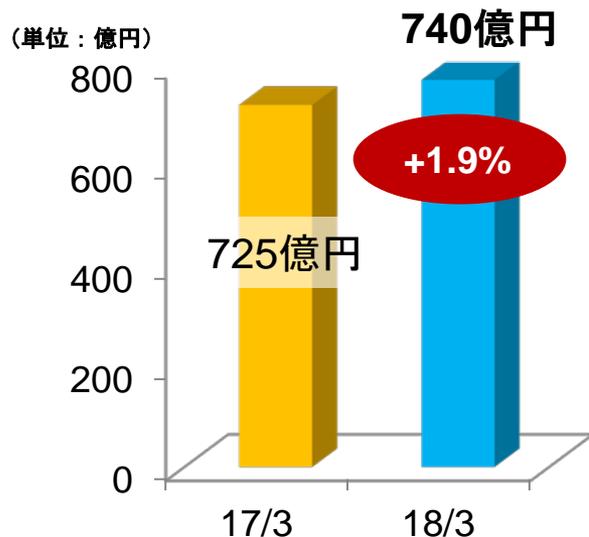
### 営業利益率



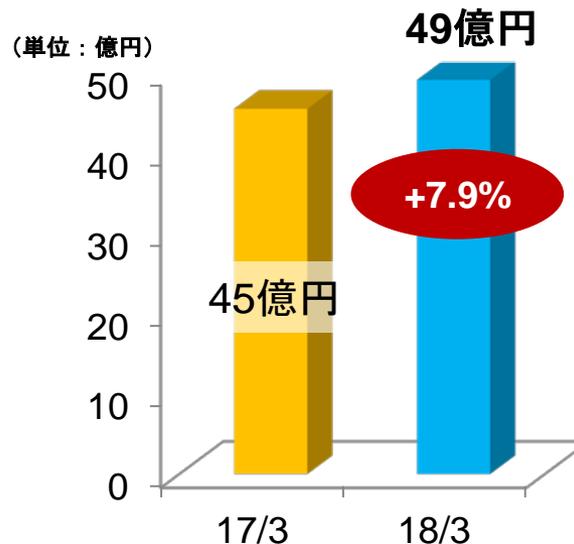
- ・新設は標準機種を中心に受注、売上の増加を見込む
- ・アフターマーケット事業は保守が牽引。受注、売上増加へ
- ・固定費上昇は原価低減、生産性改善で吸収し増益を堅持

### 中国は受注増加で前期水準を維持

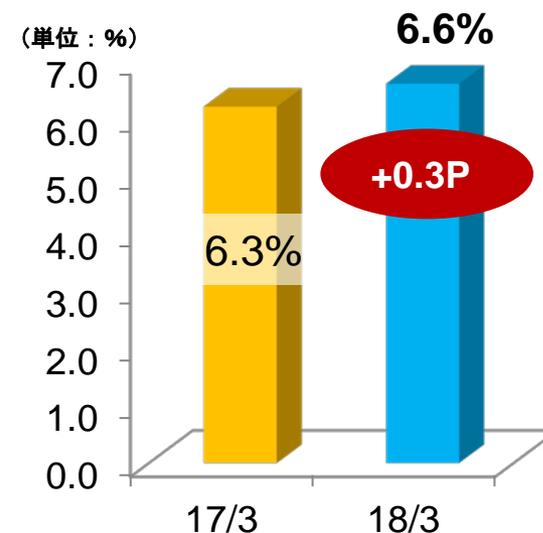
売上高



営業利益



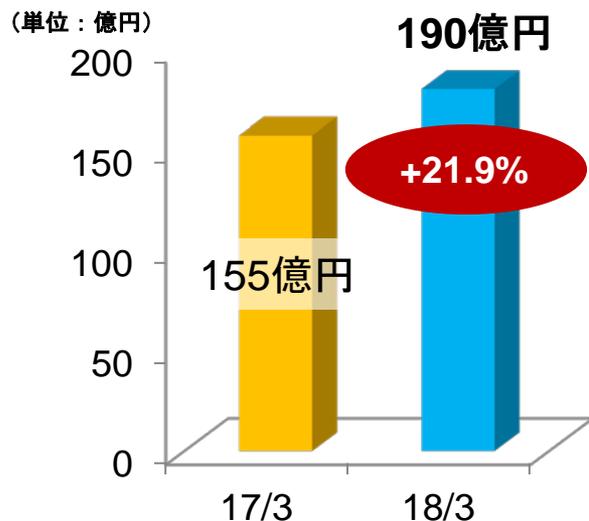
営業利益率



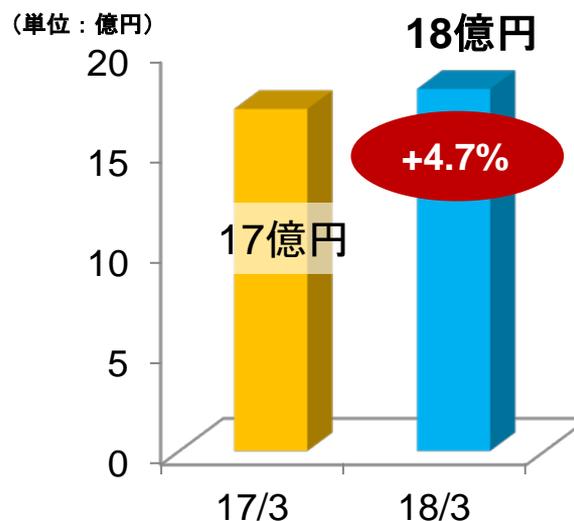
- ・中国は原価低減により損益改善目指す
- ・香港、台湾、韓国は堅調に推移する見込み

### シンガポール、アセアン地域で増収・増益

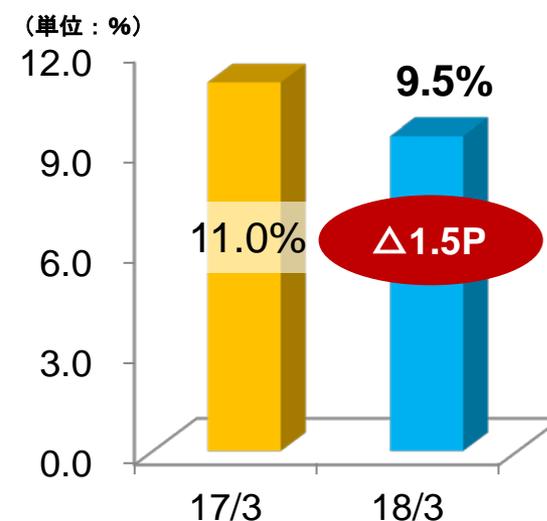
売上高



営業利益



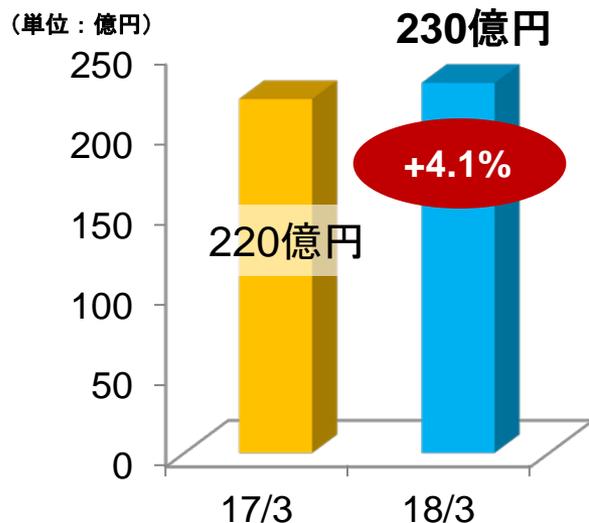
営業利益率



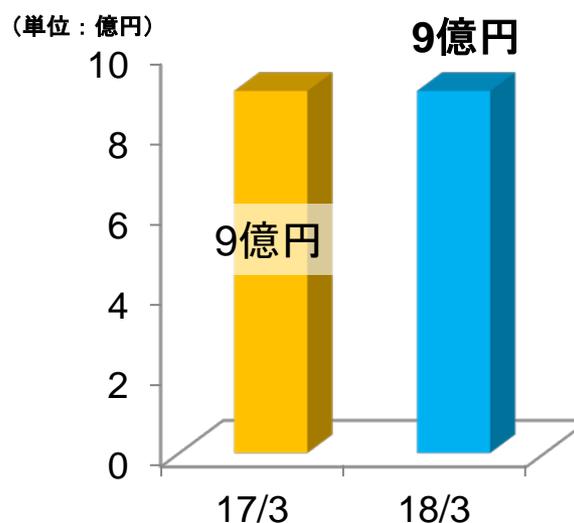
- ・シンガポールは新設、アフターマーケット事業が堅調
- ・マレーシア、インドネシアは増収増益を見込む
- ・インドは新機種拡販、販売ネットワークを強化

## 新設、モダニゼーションで増収。保守も堅調

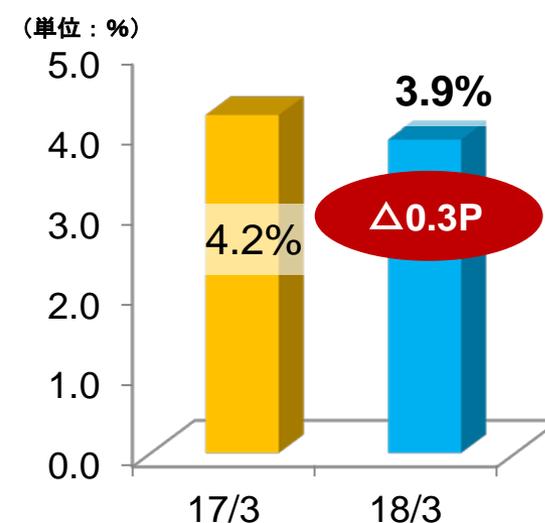
### 売上高



### 営業利益

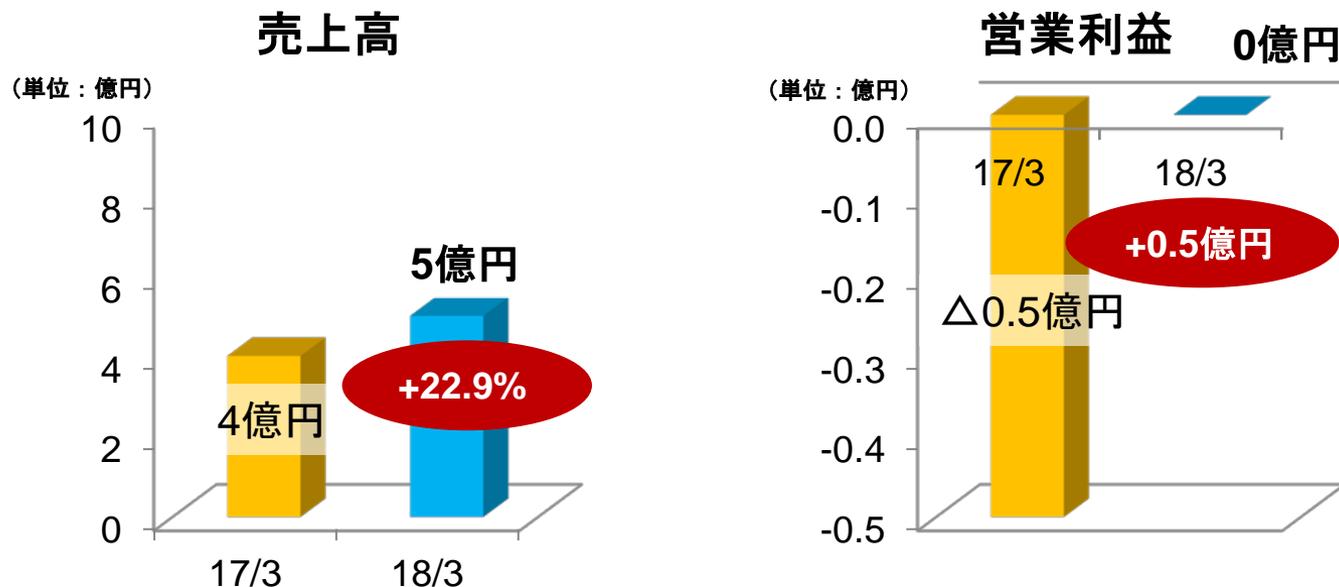


### 営業利益率



- ・業容は順調に拡大する見通し
- ・営業利益は前期並み

## 収支均衡



・メンテナンス事業中心に収支均衡を目指す

## 設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2018/3	2017/3	増減額
設備投資額	4,000	4,385	△385
国内	2,600	3,314	△714
海外	1,400	1,071	+329
減価償却費	3,000	2,751	+249
研究開発費	2,600	2,302	+298

(単位：円)

	2018/3	2017/3	増減額
配当金	35	30	+5
中間	15	15	—
期末	20	15	+5

※2018/3の期末配当予想は創業70周年の記念配当5円を含んでいます。

### 3. 中期経営計画の取り組み



**2019年3月期**  
売上高：2,000億円  
営業利益：160億円  
営業利益率：8.0%

**2018年3月期**  
売上高：1,750億円  
営業利益：132億円  
営業利益率：7.5%

**2017年3月期**  
売上高：1,674億円  
営業利益：126億円  
営業利益率：7.6%

## 全セグメントで増収を計画

2018年3月期

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	680	57	8.4%
東アジア	740	49	6.6%
北 米	230	9	3.9%
南アジア	190	18	9.5%
欧 州	5	0	—
小 計	1,845	133	7.2%
調 整 額	△95	△1	—
合 計	1,750	132	7.5%

平均為替レート: 1米ドル110円

2019年3月期

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	700	58	8.3%
東アジア	1,000	78	7.8%
北 米	240	7	2.9%
南アジア	200	19	9.5%
欧 州	8	0	—
小 計	2,148	162	7.5%
調 整 額	△148	△2	—
合 計	2,000	160	8.0%

平均為替レート: 1米ドル110円

### 売上・利益の拡大を展開

#### 売上面

- ・全グローバル拠点で拡販を進める

#### 利益面

- ・調達コストの圧縮による利益率向上
- ・グローバルサプライチェーンの構築

両面での取り組みを推進中

## 新設事業



- グローバル標準型エレベータ投入
- エスカレータ製造拠点の連携強化

## モダニゼーション事業



- 先進国で需要が拡大
- 台湾の新竹工場と連携加速

## 一括調達

生産資材・機器



調達の一元化



- ・一括調達によるコスト低減

## グローバル物流の見直し



グローバル物流中継拠点



- ・リードタイムの最適化
- ・物流コストの圧縮

## 參考資料

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウィング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数93,767,317株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名（うち社外3名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 9,832名（個別 2,875名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年5月25日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2017年5月25日

**フジテック株式会社**

2017年3月期 決算説明会資料

